

## はじめに

「チームワークは大切だ」と、よく言われます。みなさんも、学校の活動やスポーツで、チームワークの大切さを感じたことがあるでしょう。

どうすれば、チームワークがよくなるのでしょうか？

みなさんが、この本で学ぶのは、宇宙飛行士のチームワークの方法です。国際宇宙ステーション（ISS）では、世界中の宇宙飛行士が協力しながら働いています。もし宇宙でチームワークがうまくいかなかったら、大変なことになってしまいますよね。そのため、宇宙飛行士はチームワークを発揮するための「秘伝」（「行動マーカー」といいます）を持っているのです。

宇宙飛行士の「秘伝」なんておぼろげに思ってもいいかもしれません。宇宙飛行士といえは、まるでスーパーマンみたいな人たちですからね。

でも、この本では、リツ・ナミ・ユウ・ミコの小学生4人組が、「秘伝」を学んで、困りごとを解決します。学年もちがう、性格もちがう4人が、それぞれの長所・

たんしよ とくい ふとくい い しっぱい しょうとつ かえ  
短所、得意・不得意を活かし、失敗や衝突をくり返しな  
がら、チームワークの極意を身につけていくのです。

### ～この本の使い方～







まずは物語を楽しみながら、全体を通して読みましょ  
う。「ふりかえりノート」や「ユウと考えよう」のコー  
ナーは、最初は飛ばしてかまいません（「ララの観察日  
記」、「陽だまりのテラスで」、「こぼればなし」は読んで  
ね）。物語に6つの「秘伝」が登場しますが、実は秘伝  
はそれだけではありません。細かい秘伝が物語のあちこ  
ちにちりばめられています。まず1回通して読み、次に  
読むときに「どこが秘伝かな」と考えながら読むとよい  
でしょう。みなさんも、リツ・ナミ・ユウ・ミコの4人  
と、チームワークの秘伝を学び、極意を身につけましょ  
う。

2023年3月





きたがわ たつ お  
北川 達夫



はじめに	4
ユウとじいちゃん	8

## 第1章 チームワークは「まずは自分」

<b>1</b> ユウ	14
 ユウと考えよう①	24
 ララの観察日記①	25
<b>2</b> ミコ	26
 ユウと考えよう②	32
 ララの観察日記②	33
<b>3</b> ナミとリツ	34
 ユウと考えよう③	43
 ララの観察日記③	44

## 第2章 最強のチームをつくろう

<b>4</b> こま 困りごと引き受け隊	46
 ユウと考えよう④	55
 ララの観察日記④	56
 陽だまりのテラスで①	57
<b>5</b> かささぎ 国際ボンダンス大会	58
 陽だまりのテラスで②	67

	ユウと <sup>かんが</sup> 考えよう⑤	_____	69
	ララの <sup>かんさつにつ</sup> 観察日記⑤	_____	70
	こぼればなし	_____	71

### だい しょう 第3章 チームワークを<sup>はっ</sup>発揮しよう

<b>6</b>	フニクラさんの <sup>きょうふ やかた</sup> 「恐怖の館」	_____	74
	ユウと <sup>かんが</sup> 考えよう⑥	_____	89
	ララの <sup>かんさつにつ</sup> 観察日記⑥	_____	90
	こぼればなし	_____	91
	陽だまりのテラスで③	_____	93
<b>7</b>	リーダー <sup>しっかく</sup> 失格?!	_____	95
	ユウと <sup>かんが</sup> 考えよう⑦	_____	107
	ララの <sup>かんさつにつ</sup> 観察日記⑦	_____	108
	陽だまりのテラスで④	_____	109
<b>8</b>	サクラさんの <sup>ひ みつ たからもの</sup> 秘密の宝物	_____	110
	陽だまりのテラスで⑤	_____	123
	ユウと <sup>かんが</sup> 考えよう⑧	_____	125
	ララの <sup>かんさつにつ</sup> 観察日記⑧	_____	126
	陽だまりのテラスで	_____	129
	秋 <sup>あき</sup> の陽だまりのテラスで	_____	136
	エピソード	_____	138
	【ユウと <sup>かんが</sup> 考えよう】の <sup>こた</sup> 答えの <sup>れい</sup> 例	_____	139

## ユウとじいちゃん

「じいちゃん、いる？」

「ああ、いるよ」

4年生のユウは学校から帰ると、まっさきにじいちゃんのところに行きます。じいちゃんは、いつものように、庭先のテラスでロッキングチェアを、ゆっくりとゆらしています。ひざの上では、ネコのララがうつらうつらしていました。ララは16歳。人間でいうと、じいちゃんと同じ80歳くらいだそうです。

「ということは、じいちゃんは、ネコでいうと16歳だね！」

「ネコでいうと16歳か。それはいいな！」

ユウは、テラスのいすにこしかけて、学校であったことを話しました。じいちゃんは、ロッキングチェアをゆらしながら聞いています。ララは目を



つぶったまま、<sup>みみ</sup>耳だけを<sup>うご</sup>動かします。

「じいちゃん、あのね。<sup>きょう</sup>今日、フットサルの<sup>しあい</sup>試合  
で<sup>ま</sup>負けちゃったんだ」

「ほうほう、それは<sup>ざんねん</sup>残念だったね。まあ、<sup>ま</sup>負ける  
ことだってあるさ」

「うん、つぎ、がんばる」

「そうそう、その<sup>ちょうし</sup>調子だ」

いつも、こんな<sup>かん</sup>感じ。ユウは、じいちゃんと<sup>はな</sup>話  
すのが<sup>だいす</sup>大好きです。



ある<sup>あめ</sup>雨<sup>ひ</sup>の日のことです。

「<sup>まえ</sup>前から<sup>おも</sup>思っていたんだけど——」

ユウがちょっとまよったように、じいちゃんに  
言いました。ネコのララが<sup>め</sup>目<sup>あ</sup>を開けて、ユウのこ  
とを<sup>み</sup>見つめました。

「あそこにはなんて<sup>か</sup>書いてあるの？」

じいちゃんはふりかえり、<sup>かべ</sup>壁<sup>がく</sup>にかかった<sup>み</sup>額<sup>み</sup>を見  
て、<sup>こた</sup>答<sup>え</sup>えました。



「ああ、『<sup>しょでん</sup>初伝 なにごとも <sup>じぶん</sup>まずは自分と ころ  
えよ』と書いてあるんだよ」

「しょでん？」

「<sup>さいしょ</sup>最初の<sup>おし</sup>教えということだ。なにごとも——つま  
り、どんなことでも、<sup>とく</sup>特に、イヤなことがあつた  
り、<sup>しっぱい</sup>失敗したりしたときは、まずは<sup>じぶん</sup>自分に<sup>りゆう</sup>理由が  
あるんじゃないか、と<sup>かんが</sup>考えるようにしなさい、と  
いうことだよ」

「え？ なんでも<sup>じぶん</sup>自分のせいってこと？」

「なんでもではないけれど、<sup>きほんてき</sup>基本的にはそういう  
ことだね」

「でもさ、<sup>きょう</sup>今日はイヤな<sup>あめ</sup>雨の<sup>ひ</sup>日だけれど、それは  
<sup>ぜったい</sup>絶対にぼくのせいじゃないよ！」

「たしかに<sup>あめ</sup>雨が<sup>ふ</sup>降るのは、だれのせいでもない。  
もちろんユウのせいではない。しかし、<sup>あめ</sup>その雨を  
イヤなものにしたのはだれかな？」

「あ！」



「<sup>あめ ひ</sup>雨の日をどう思<sup>おも</sup>おうと、<sup>こじん じゆう</sup>個人の自由だ。でも、

**<sup>じぶん かんが かつ</sup>自分の考え方ひとつで、<sup>いちにち</sup>イヤな一日にも、すばら**

**<sup>いちにち</sup>しい一日にもなるんだよ」**

「うーん……」

「おずかしいかな。でも、ユウもついに——」

「ついに？」

「まあ、いい。ここからすべてが<sup>はじ</sup>始まる」

じいちゃんが<sup>とお</sup>遠くを見ながら<sup>み</sup>言うと、<sup>い</sup>ララが<sup>おお</sup>大き<sup>く</sup>あくびをしました。🐱



## ユウのふりかえりノート

### きょう 今日のふりかえり

これまで／あとき	これから
タカシと話 <sup>はな</sup> していなかった。	タカシにどんどん話 <sup>はな</sup> しかけよう。
タカシを仲間外 <sup>なかまはず</sup> れにしていたかも。	タカシを仲間 <sup>なかま</sup> にしよう。
タカシのせい <sup>ま</sup> で負 <sup>お</sup> けたと思 <sup>おも</sup> っていた。	自分 <sup>じぶん</sup> のせい <sup>ま</sup> で負 <sup>お</sup> けた部分 <sup>ぶぶん</sup> もあるかも、と思 <sup>おも</sup> うことにしよう。
けっこういいチームだと思 <sup>おも</sup> っていた。	タカシも仲間 <sup>なかま</sup> にして、もっといいチームにしよう。

### きょう きょうくん 今日の教訓

なにごとも まずは自分<sup>じぶん</sup>と ころろえよ

他人<sup>たにん</sup>より まずは自分<sup>じぶん</sup>を よく見<sup>み</sup>るべし

わたしのおかげ？ あなたのせい？

これって、けっこうきびしい考え<sup>かんが</sup>方<sup>かた</sup>だね。

## ユウと考えよう 1

**いち** ユウのチームが、あまり強くなかったのはなぜかな？

タカシのせいじゃないことはわかった。

「まずは自分」と考える。絶対に「他人のせい」にはしないことだ。自分以外の理由は、「なんのせい」と考えるといいよ。

たとえば、「チームワークが悪かったせい」とか？

そうそう。では、チームワークが悪かったのは、なんのせいかな？

**に** 明日、ユウはなにをするつもりだと思おう？

何度も「まずは自分」と考えるたびに、だんだんわかってきた。

タカシ君のことをなんとかしたほうがいいね。で、どうする？

**さん** ララからのメッセージ

あなたも、失敗を他人のせいにしてたり、成功を自分の手がらにしてたりしたことはないかな？ あったら、自分のふりかえりノートに書いてみよう。